

# 平成十六～十七年度 修復文化財関係銘文集成

## 〔凡例〕

- 一、銘文の採録にあたり、各文化財の修理完成年度をもって整理した。
- 一、修復文化財はそれぞれ名称、指定の有無、員数、所有者、品質形状（構造）、法量、制作年代、修理内容の順で記した。法量の単位はセンチメートル。
- 一、銘文の記載個所は括弧「」で記した。
- 一、銘文の参考資料として図版・挿図をできるだけ多く掲載した。
- 一、改行は原則として原文通りとし、不規則に記された個所は、内容毎に鉤括弧「」でまとめた。
- 一、漢字は新字体に統一し、異体字は原則として通行の字体に直した。
- 一、各銘文の末尾に、①制作年（西暦）および修理年（西暦）、②修理施工者と施工年度、③参考文献、④所在地、⑤備考を付した。
- 一、銘文の解説、釈文の作成は、当館保存修理指導室（鈴木喜博）および書跡担当（野尻忠）が担当した。
- 一、本集成は、修理施工者から提供を受けた写真等の資料に基づき作成し、掲載図版は修理施工者および奈良国立博物館撮影のものを使用した。

## 目次

### 〔平成十六～十七年度〕

#### 絵画

- |   |            |         |     |
|---|------------|---------|-----|
| 1 | 絹本着色玄奘取経図  | 奈良県     | 薬師寺 |
| 2 | 絹本着色阿弥陀来迎図 | 奈良国立博物館 |     |
| 3 | 紙本着色仏涅槃図   | 奈良県     | 岡寺  |
| 4 | 紙本着色涅槃図    | 愛知県     | 浄久寺 |
| 5 | 絹本着色十六羅漢像  | 京都府     | 江西寺 |
| 6 | 絹本着色藤原鎌足像  | 奈良国立博物館 |     |

#### 彫刻

- |    |               |     |        |
|----|---------------|-----|--------|
| 7  | 木造不動明王坐像      | 奈良県 | 東大寺    |
| 8  | 木造僧形坐像        | 奈良県 | 南明寺    |
| 9  | 木造天部立像        | 奈良県 | 十市町自治会 |
| 10 | 木造阿弥陀如来及両脇侍立像 | 大阪府 | 念佛寺    |
| 11 | 木造十一面観音立像     | 奈良県 | 北村町自治会 |

#### 工芸

- |    |      |         |      |
|----|------|---------|------|
| 12 | 木造扁額 | 京都府     | 海住山寺 |
| 13 | 木造扁額 | 京都府     | 如意寺  |
| 14 | 公験唐櫃 | 奈良国立博物館 |      |

1 玄奘取經圖

未指定 一幅

奈良県 薬師寺

絹本着色 縦八五・四 横四三・五

南北朝時代 解体修理

〔軸木墨書〕(図1)

張縁供起

①十四世紀

②株式会社文化財保存 平成十六年度

④奈良市西ノ京

⑤当初銘



図1

2 阿弥陀来迎図

未指定 一幅

奈良国立博物館

絹本着色 縦一六〇・六 横八四・二

鎌倉時代 解体修理

〔表紙墨書〕(図2)

此像者琢摩法眼之画所也即隨身之本尊也是則光明遍照十方世界  
念仏衆生攝取<sup>不捨</sup>金言誰不<sup>不捨</sup>忘之乎依之今加修複<sup>不捨</sup>而已寛文十戌年  
五月吉日遍照光院廿八折負頼任(花押)

〔表紙外題〕

阿弥陀尊像 琢摩筆

遍照光院頼任修復

〔箱書 蓋裏〕

寛文十二年壬子三月吉日 寄進 住持信栄時

〔箱書 身底〕

阿弥陀尊像 琢摩筆 遍照光院頼任

①寛文十年(一六七〇) 同十二年(一六七二)

②株式会社文化財保存 平成十六―十七年度

④奈良市登大路町

⑤修理銘

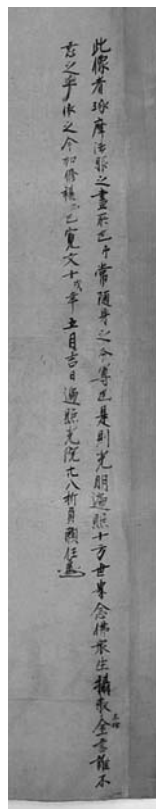


図2

3 仏涅槃図

未指定 一幅

奈良県 岡寺

紙本着色 縦二三三・三 横一六二・五

江戸時代 文政二年(一八一九) 解体修理

〔総裏 墨書〕(図3)

岡寺

真珠院什物

文政二己卯年表具之

〔総裏 軸部 墨書〕

豊山御用<sup>和州初瀬 仏画表具師</sup> 浅田洞玄(朱文方印)

①文政二年(一八一九)

②株式会社文化財保存 平成十六―十七年度

④奈良県高市郡明日香村岡

⑤当初銘

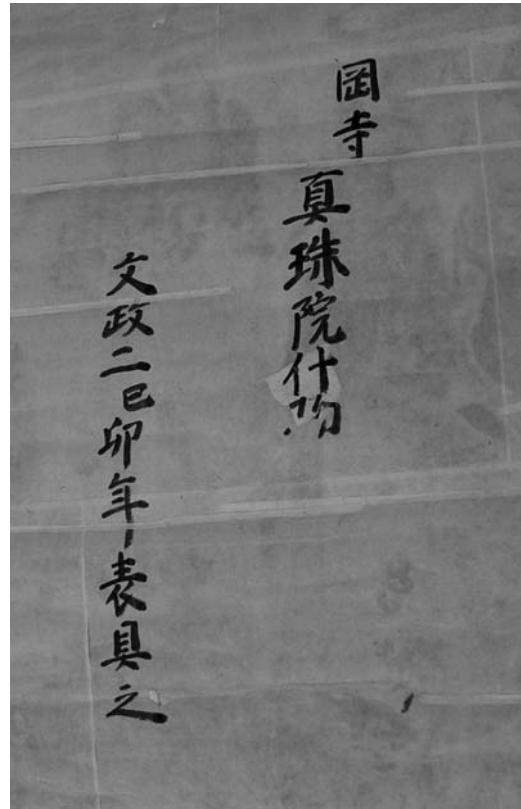


図3

4 涅槃図

未指定 一幅

愛知県 浄久寺

紙本著色 縦一八五・三 横一五〇・六  
江戸時代 解体修理

〔上巻絹 墨書〕(図4・5・6)

□ 釈尼妙説菩提寄附 □ 安永四乙未年九月廿九日卒 施主中村  
與右衛門 干肯安永六丁酉年二月吉祥日 尾府城南曹源山浄久  
禪寺什物 現住自先代新添

①安永六年(一七七七)

②株式会社文化財保存 平成十七年度

④愛知県名古屋市天白区八事山

⑤当初銘

5 十六羅漢像

宮津市指定文化財 十六幅のうち 京都府 江西寺

絹本著色 各縦八一・五 横三九・七  
南北朝時代 解体修理

〔第一尊者 総裏 墨書銘〕(図7)  
文化八辛未歳

修補并表相施主

智恩寺実応和尚

〔第三尊者 総裏 墨書銘〕(図8)  
文化八辛未歳

修補并表相施主

海隣寺遂巖和尚

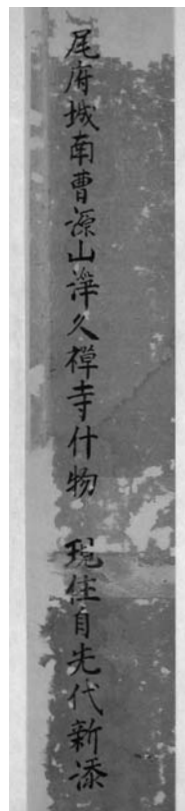


図6

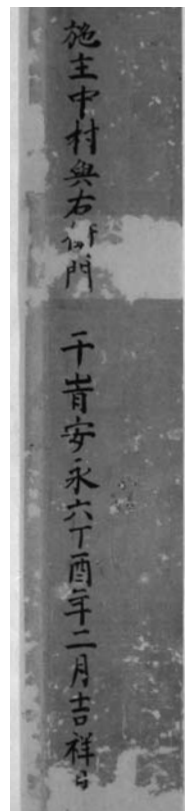


図5



図4

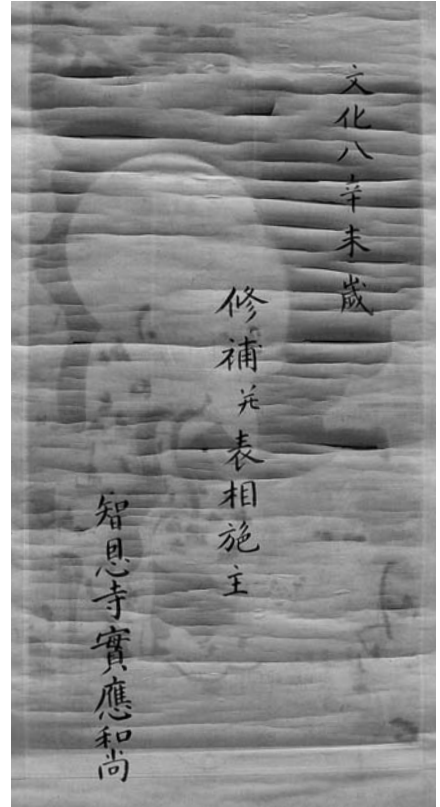


図 7

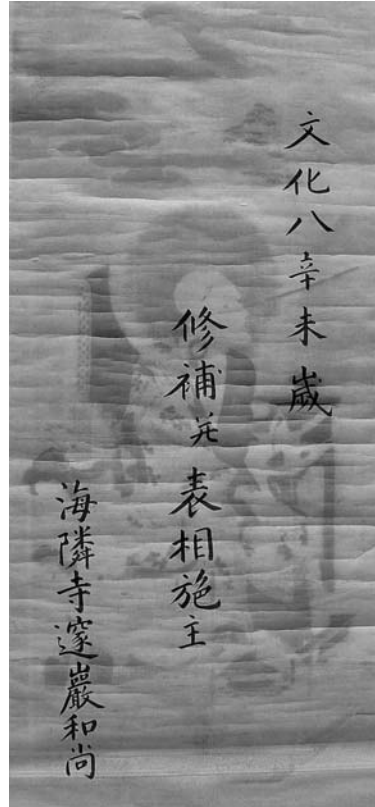


図 8

- ①文化八年（一八一二）
- ②株式会社文化財保存 平成十七年度
- ④京都府宮津市須津
- ⑤修理銘

6 藤原鎌足像

未指定 一幅

絹本着色 縦一〇六・二 横四一・四

室町時代 解体修理

奈良国立博物館

〔表具〕（図9）

于時 永正十年癸酉正月十六日 大和多武峯平等院 東院  
中坊



図 9

- ①永正十年（一五一三）
- ②株式会社文化財保存 平成十七年度
- ③奈良国立博物館『談山神社の名宝』（平成十六年）
- ④奈良市登大路町
- ⑤当初銘

7 不動明王坐像

奈良県指定文化財 一軀 奈良県 東大寺

木造（檜） 彩色 像高七一・〇

平安時代（十世紀） 解体修理

〔底板表面墨書〕（図10）

応安五井三月八日始修□

当興師戒和上堯□ 高天之

円賢房

〔底板内面墨書（別筆）〕（図11・12）

法花堂大師御作不動〇造事

其時人数

戒和上堯弁弟子円覚房堯範 当行善円房堯実

仏師〇天之円源房

心中所願決定円満状如件

応安五年<sup>辛子</sup>三月八日

- ① 応安五年（一三七二）
- ② 財団法人美術院 平成十五・十六年度
- ③ 『鹿園雜集』第八号 奈良国立博物館 平成十八年
- ④ 奈良県奈良市雜司町
- ⑤ 修理銘



図10

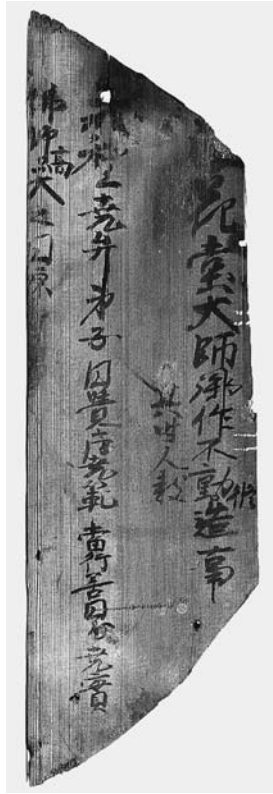


図11



図12

### 8 僧形坐像

未指定 一軀

奈良県 南明寺

木造（櫃） 彩色 像高五九・〇

平安時代（十世紀）

解体修理（住友財団助成）

〔底板裏面墨書 修理後撤去〕

□ 侍びんずる尊者

奉修名僧肖像

南都仏師信彦

昭和二十九年四月十二日奈良

宝田信彦

御両手首新彫刻ス

① 昭和二十九年（一九五四）

② 財団法人美術院 平成十六年度

③ 『鹿園雜集』第八号 奈良国立博物館 平成十八年

④ 奈良県奈良市阪原町

⑤ 修理銘

### 9 天部立像

奈良県指定文化財 一軀 奈良県 十市町自治会

木造 彩色 像高一六四・二

平安時代（十世紀） 解体修理

〔背板（腰下）裏面 墨書銘〕（図13・14・15）

大仏師大坂山本平右衛門 大座五光供一作

上 梵字 奉修幅尊像 勸進者沙門阿闍梨有尊

元祿十五年壬戌九月上旬

① 元祿十五年（一七〇二）

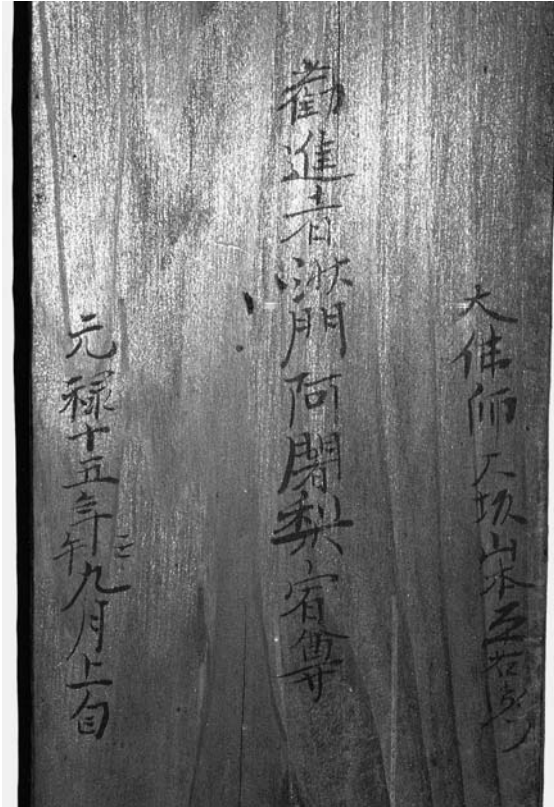


図14



図13

②財団法人美術院 平成十六―十七年度  
 ③奈良県教育委員会『奈良県指定文化財 昭和六十二年版(第29集)』 昭和六十三年九月



図15

④奈良県橿原市十市町  
 ⑤修理銘

10 阿弥陀如来及両脇侍立像

東大阪市指定文化財 一躯

大阪府 念佛寺

木造(中尊||朴 脇侍||檜) 漆箔

像高(中尊)七九・二(左脇侍)六六・七

(右脇侍)六六・六

桃山時代(元和元年||一六一五) 剥落止め等

〔中尊 底板裏面墨書〕(図16)

元和元乙卯八月日

河内若江郡御厨村

如来御座板

念佛寺 証誓

〔中尊 台座天板裏面 墨書〕

于時安永三甲午九月

大坂博労町一丁目

仏工棟梁 近江屋弥兵衛

木寄<sup>セ</sup> 治右衛門

彫方 猪介

箔押 忠兵衛

治兵衛

ぬし方 伊兵衛

〔中尊 杉板 側面〕

河芴若江郡御厨村

称名山念仏寺

〔安永三年午八月朔日ヨリ十日迄十座説法ニテ本尊

蓮台建立スル者也〕（鉤括弧内は別筆）

住主快円

〔中尊 光背裏面 刻銘〕

淨譽 妙運個女施主 平左衛門

満譽 淨円同 甚左衛門

円譽 妙智同 武左衛門

同 直兵衛

淨譽 貞寿 禪尼

〔左脇侍 光背裏面 朱書〕

住持

春谷貫立法主

二脇士建造願主

并観音講中

〔左脇侍 下台座 天板裏墨書〕

寛延三年午十二月入仏

〔左脇侍 下台座 側板裏面〕

仏師大坂新道

駒井喜兵衛

発願先貫立

寛延二巳二月初

同六月十二日（同） 刻

念仏寺智海代

二菩薩建立

観音講中

〔右脇侍 光背裏面 朱書〕

住持

春谷貫立法主

二脇士願主

并観音講中

〔右脇侍 下台座 天板裏墨書〕

二菩薩建立

称名山念仏寺

現主

春潮代

〔右脇侍 下台座 側板裏面〕

寛延三年

午十二月

願主

先貫立

- ①元和元年（一六一五） 寛延二年（一七四九） 同三年（一七五〇） 安永三年（一七七四）

②財団法人美術院 平成十六―十七年度

④大阪府東大阪市御厨町

⑤当初銘、及び修理銘



図16

### 11 十一面観音立像

未指定 一躯

奈良県 北村町自治会

木造（檜） 素地 像高六九・〇

室町時代（天文二年―一五三三） 解体修理

〔軀部内刳部 正面材〕

□ 梵字（カーンマーン）

〔軀部内刳部 背面材〕

梵字（ウーム） 春浄

工匠明信

天愛染王□魔

光恵 天文二年正月十五日造之

梵字（キヤ）

宗圓 開眼大法師実清

①天文二年（一五三三）

②財団法人美術院 平成十七年度

③奈良国立博物館『宿院仏師―戦国時代の奈良仏師―』平成十七年

④奈良県奈良市北村町

⑤当初銘

### 12 扁額

京都府指定文化財 一面

京都府 海住山寺

木造 彩色 縦七一・五 横五一・九

鎌倉時代（承元二年―一二〇八） 解体修理

〔裏面墨書〕（図17）

承元二年 戊辰十一月廿七日書之

桑門 瞻空

①承元二年（一二〇八）

②財団法人美術院 平成十七年度

④京都府木津川市加茂町例幣海住山

⑤当初銘



図17

13 扁額

京都府指定文化財 一面

京都府 如意寺

木造 彩色 縦六五・一 横四〇・五

鎌倉時代（永仁三年〱一二九五） 解体修理

〔裏面墨書〕

永仁三年乙未八月廿二日〱〱之

正四位行左馬頭藤原朝臣定成

①永仁三年（一二九五）

②財団法人美術院 平成十七年度

④京都府京丹後市久美浜町

⑤当初銘

14 公驗唐櫃

未指定 一基

奈良国立博物館

木造 素地 幅六七・六 奥五二・八 高四〇・七

鎌倉時代（弘安三年〱一二八〇） 一部補修

〔腰部左側 陰刻墨入〕（図18）

公驗辛櫃第二

伊賀国 大和 院宣

分附 学生帳

弘安三年庚辰十月廿九日  
造替五合辛櫃納入累代  
公驗

造東大寺大勸進沙門聖守

①弘安三年（一二八〇）

②財団法人美術院 平成十七年度

③『奈良国立博物館藏品目録 工芸篇仏教工芸』

奈良国立博物館 平成四年

④奈良県奈良市登大路町

⑤当初銘



図18